

(仮称) 柏市乳児等通園支援事業設備運営基準条例(案)に対するパブリックコメント及び市の考え方

柏 市

No.	意 見	市の考え方
1	乳児通園支援は別に良いと思う。子供を通わせたい人が通わせられるのは良いことだ。 ただし市には知ってもらいたい。親の就労期間・時間が長いと子育てがうまくできない家庭が増えることを。 小学校に11年勤務している。毎年支援級の児童が増え、通常級にも(親の同意が得られないので通常級にいるが)支援級クラスの子がいる。 正直、家庭で丁寧に面倒を見てくれたら(持ち物、宿題、学習の出来)普通に授業についてこられるだろう子も、落ちこぼれていく。 結果、本来支援級に来なくていい子が情緒支援級にくる。共働きでも子供との時間を上手に使える家庭もあるが、そうでない家庭も多い。 共働きや、子を預けるのを推奨するとか支援するのはいい。しかしそれと同時に「ついていけない子供たち・面倒見てもらえない子供たち」が増えていく。 そこをしっかりと理解して、施策の両輪にして、同時に対策をすすめてほしいものだ。	乳児等通園支援事業(通称「こども誰でも通園制度」)は、0歳6か月から2歳までの未就園児(保護者の就労等による保育の必要性の認定がないお子さん)が、時間単位等で柔軟に利用できる通園制度です。 本条例案は、同事業の実施に必要な設備や運営に関する基準を定めるものであるため原案のままといたしますが、頂いた御意見は、保護者支援や家庭教育のあり方に関する内容としてこども施策の関係部署及び教育委員会と共有し、本市の個別の事業及び施策において参考とさせていただきます。